



No. 4-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成25年度第3回

一般国道8号
福^ふ井^くバイパス^い

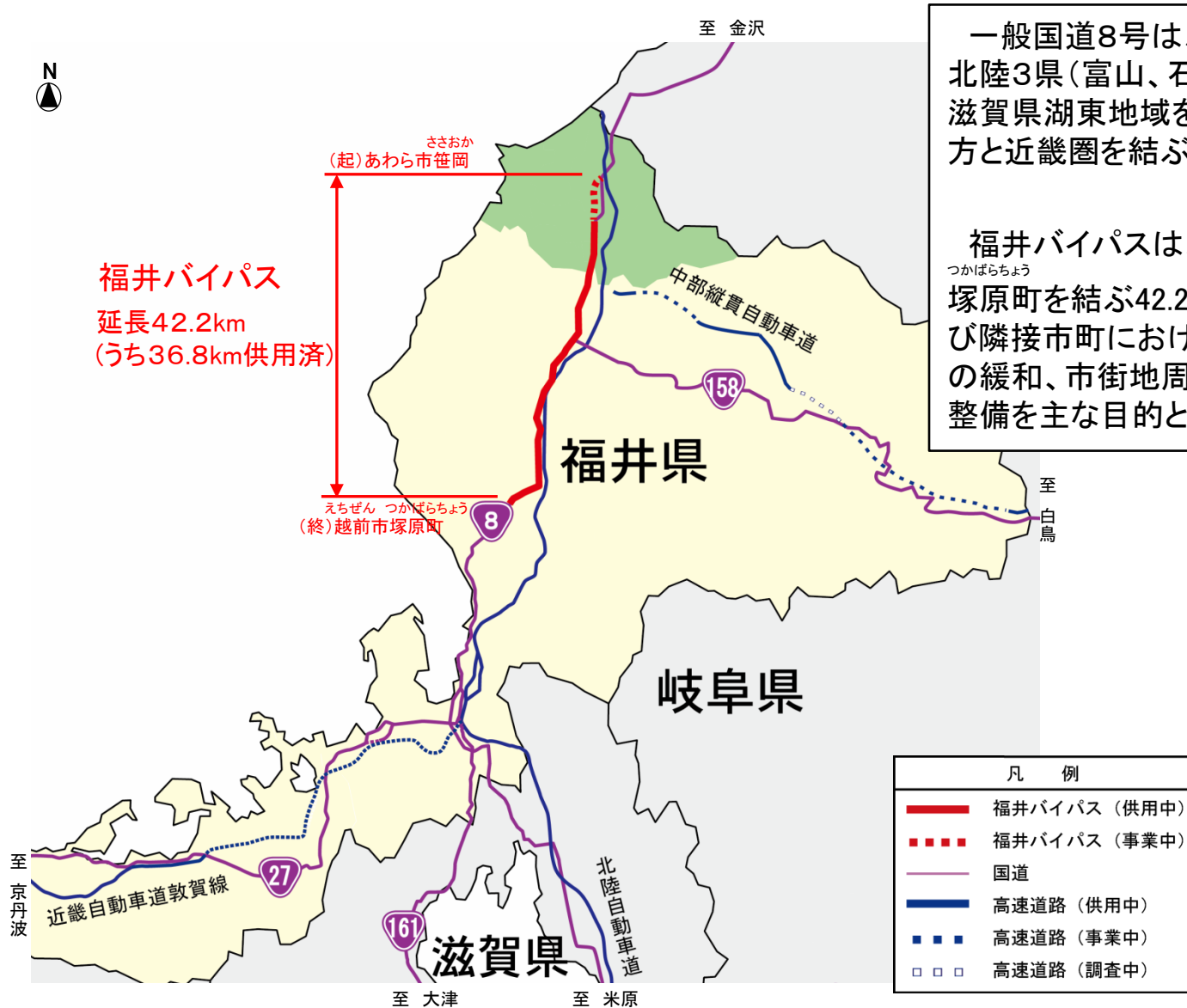
【再評価】

平成25年11月
近畿地方整備局

目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

事業全体図



一般国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、北陸3県(富山、石川、福井)の主要都市及び滋賀県湖東地域を経て、京都市に至る北陸地方と近畿圏を結ぶ主要な幹線道路です。

福井バイパスは、あわら市笹岡から越前市塚原町を結ぶ42.2kmのバイパスで、福井市及び隣接市町における中心市街地部の交通混雑の緩和、市街地周辺における地域開発の基盤整備を主な目的としています。

1. 事業の概要

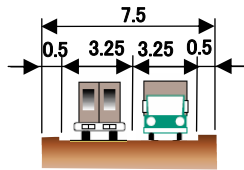
事業の概要

区 間	(起) 福井県あわら市笹岡 (終) 福井県越前市塚原町
道路延長	42.2km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車 線 数	4車線
標準幅員	26.0m~28.0m
計画交通量	20,200台/日
全体事業費	880億円
事業化	昭和41年度(あわら市瓜生~越前市塚原町 L=38.0km) 平成2年度(あわら市笹岡~坂井市丸岡町玄女間を延伸 全体L=42.2km)
都市計画決定	平成3年8月
用地着手	昭和41年度
工事着手	昭和41年度
供用延長	36.8km
事業進捗率	約92%(平成25年3月末現在)
用地取得率	約99%(面積ベース、同上)

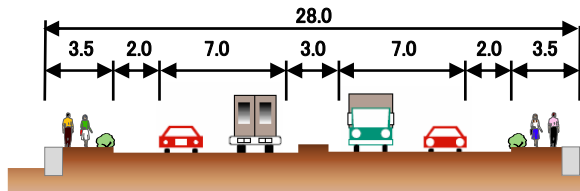
標準横断図

【単位:m】

【現況】
歩道未整備



【整備後】
両側歩道整備

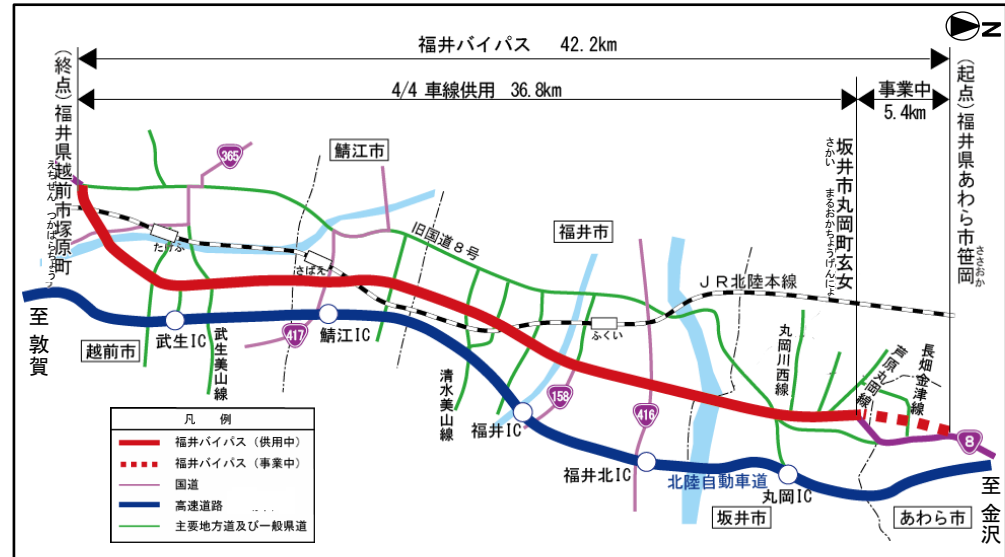
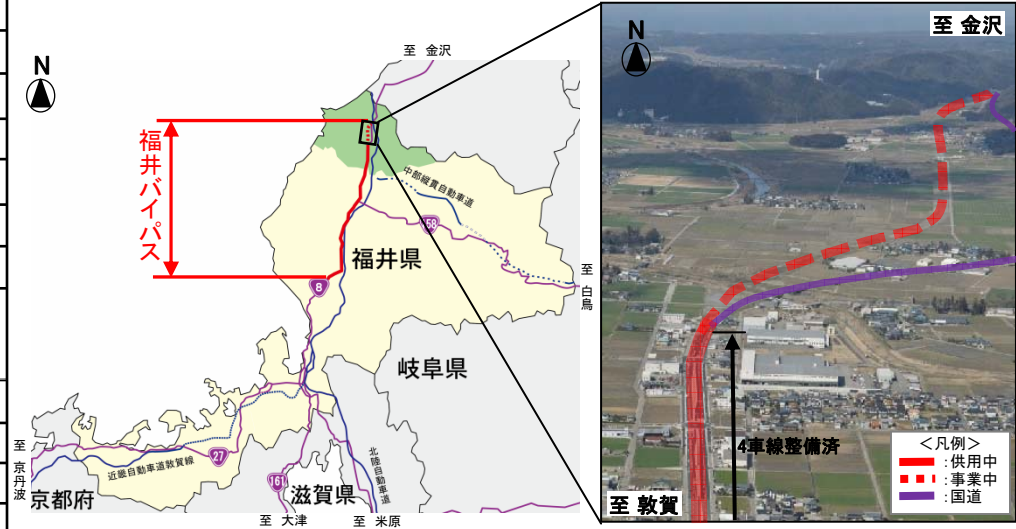


事業中間区5.4kmについては、歩道幅員は2.5m全幅26.0mで事業中。

事業の目的

- 地域産業の活性化
- 交通安全の向上
- 災害時の住民避難支援

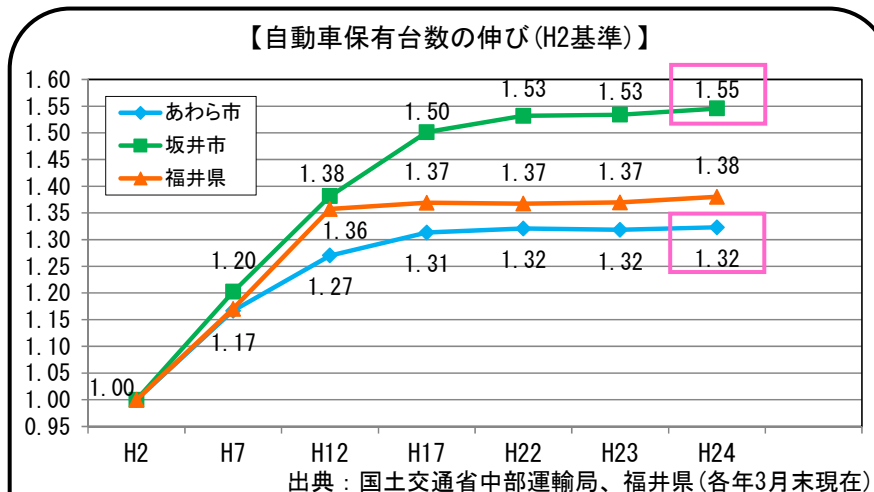
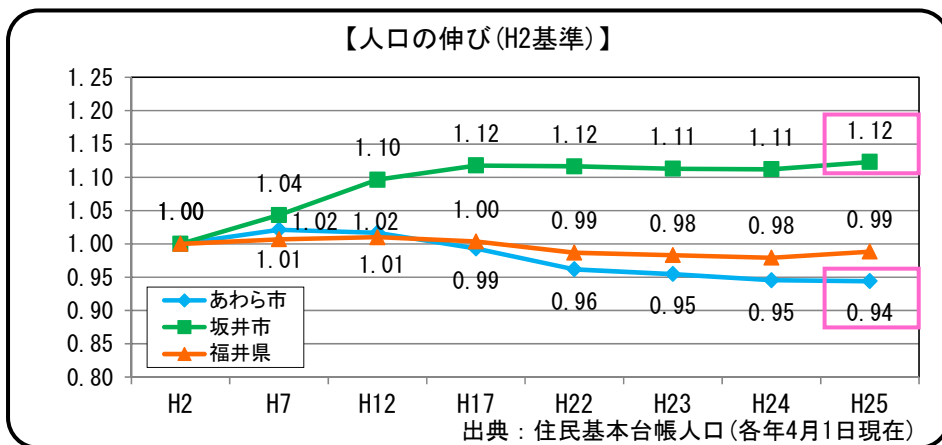
位置図



2. 事業の必要性等に関する視点

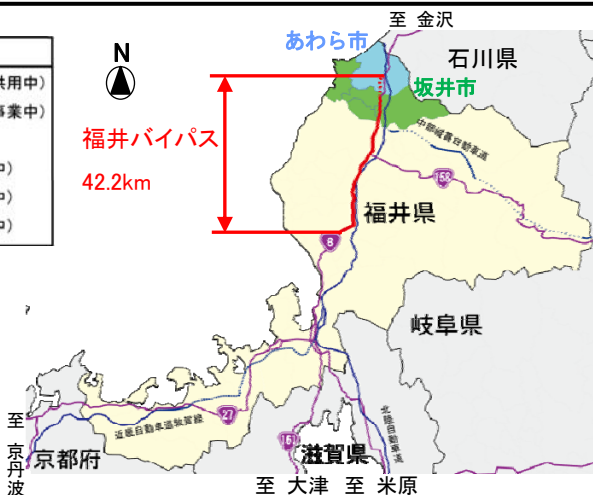
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、富山県、石川県、福井県、滋賀県を經由し、京都府京都市を終点とする南北に連絡する幹線道路で、日常生活や経済活動を支える重要な路線である。
 - 福井バイパスが通過するあわら市の人口は減少、坂井市は増加傾向にある。また、自動車保有台数はあわら市・坂井市ともに増加傾向にある。
- なお、福井県は8年連続で一世帯あたりの自動車保有台数が全国一位である。



凡例

- 福井バイパス (供用中)
- 福井バイパス (事業中)
- 国道
- 高速道路 (供用中)
- 高速道路 (事業中)
- 高速道路 (調査中)



【自家用乗用車の世帯当たりの普及台数：H25.3】

順位	都道府県	世帯あたりの普及台数(台)
1	福井県	2.299
2	富山県	2.286
3	群馬県	2.214
全国平均		1.433

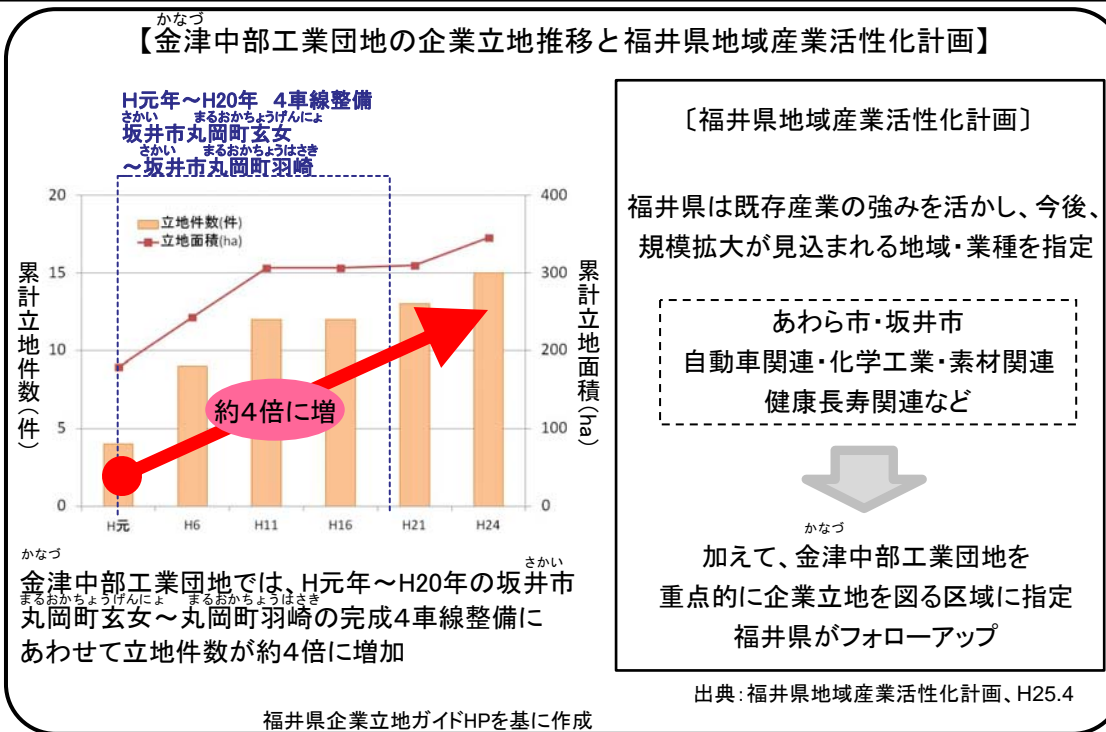
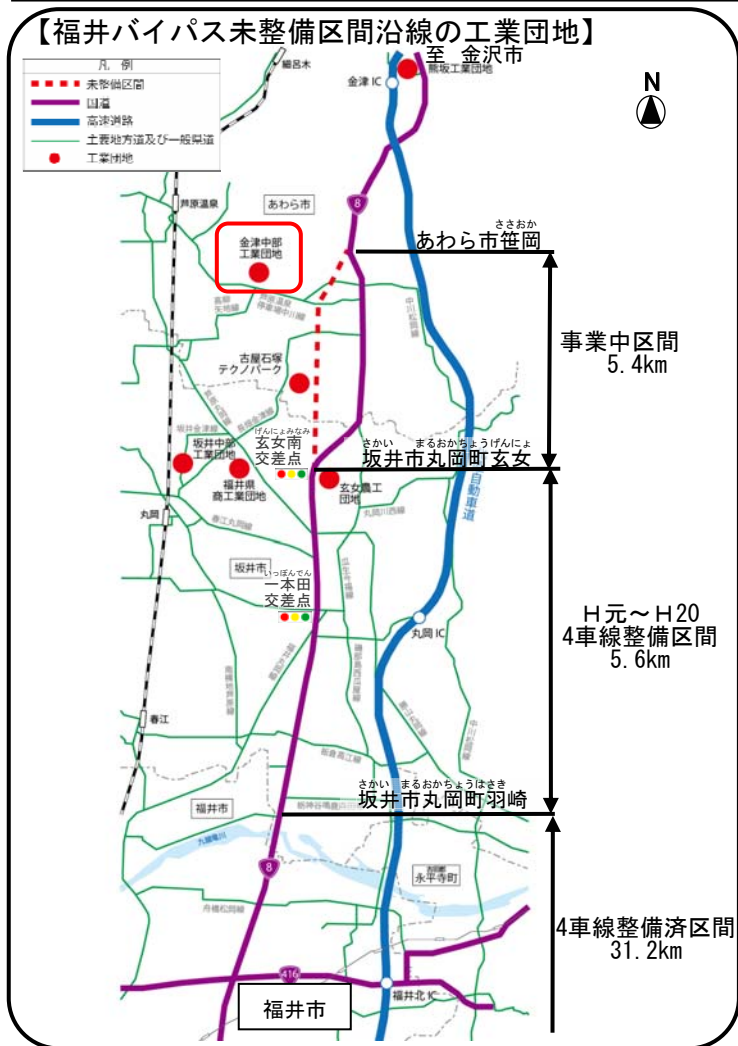
福井県
8年連続で
全国1位

一般財団法人 自動車検査登録情報協会
及び住民基本台帳世帯数を基に作成

2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(地域産業の活性化)

- 福井バイパスの周辺には、福井県地域産業活性化計画に基づく企業立地が進んでいる。
- 福井バイパス部分供用に伴い工業団地の立地件数が増加している。
- 残る区間の整備により、さらなる利便性向上、地域活性化が期待される。



【整備済区間周辺の企業団地に立地する企業の声】

いっほんでん
 ・国道8号が4車線化されてから、一本田交差点から玄女南交差点区間は非常に走りやすくなった。特に、いっほんでん交差点付近の交通流はよくなったと感じている。

【事業中区間周辺の企業団地に立地する企業の声】

げんによみなみ
 福井バイパスの整備により、福井市内の集荷センターまでの搬送する際のアクセス性の向上に期待しています。また、バイパスの整備により、地域の安全向上、ドライバーの安心感の向上も期待しています。

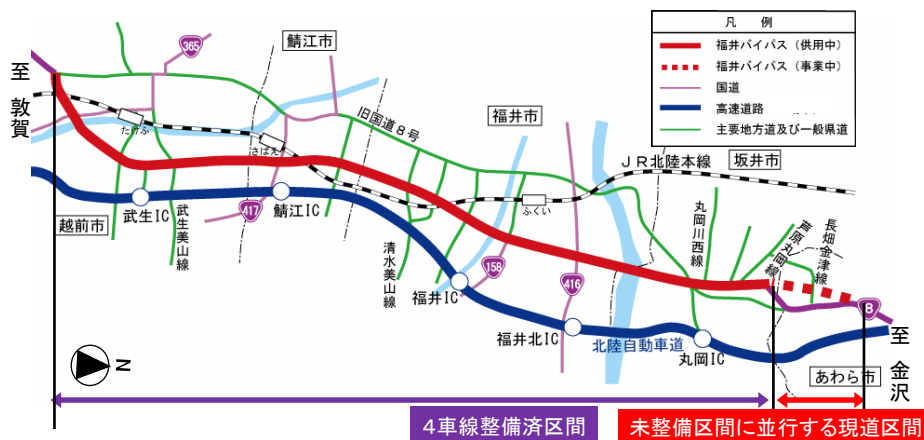
ヒアリング結果より

2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(交通安全の向上)

- 未整備区間に並行する現道区間は4車線整備済区間より正面衝突事故が多く発生していて、正面衝突による死傷事故率は全国平均よりも2.4倍高くなっている。
- 残る区間の整備により、歩道及び中央帯が整備されることで、事故減少が期待される。

【4車線整備済区間と未整備区間に並行する現道区間の事故状況】

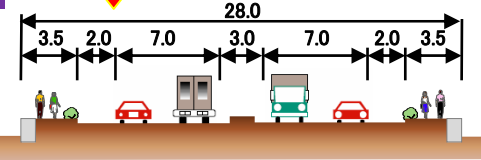


未整備区間に並行する現道区間



現道区間状況写真

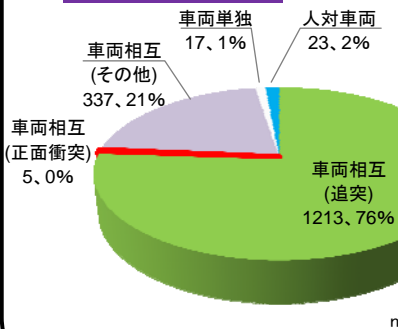
4車線整備済区間



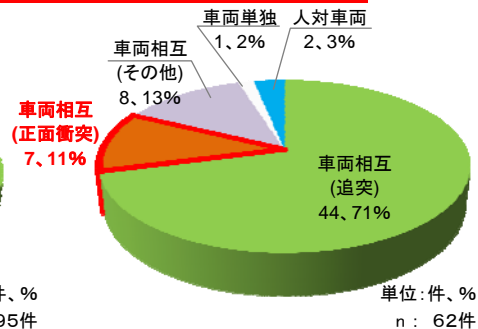
事業中区間5.4kmについては、歩道幅員は2.5m全幅26.0mで事業中

中央分離帯がない現道では、正面衝突事故が多発
4車線整備により、正面衝突の事故率の減少が期待される

4車線整備済区間

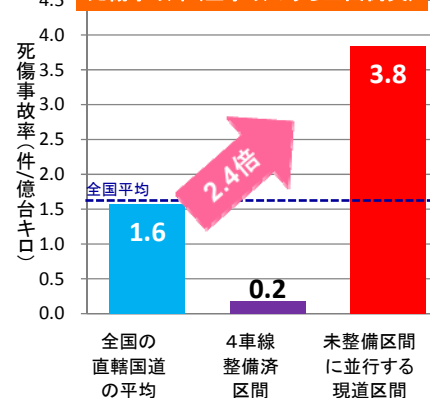


未整備区間に並行する現道区間



交通事故総合分析センターデータ (H19~H23) を基に作成

死傷事故率(全事故のうち正面衝突)

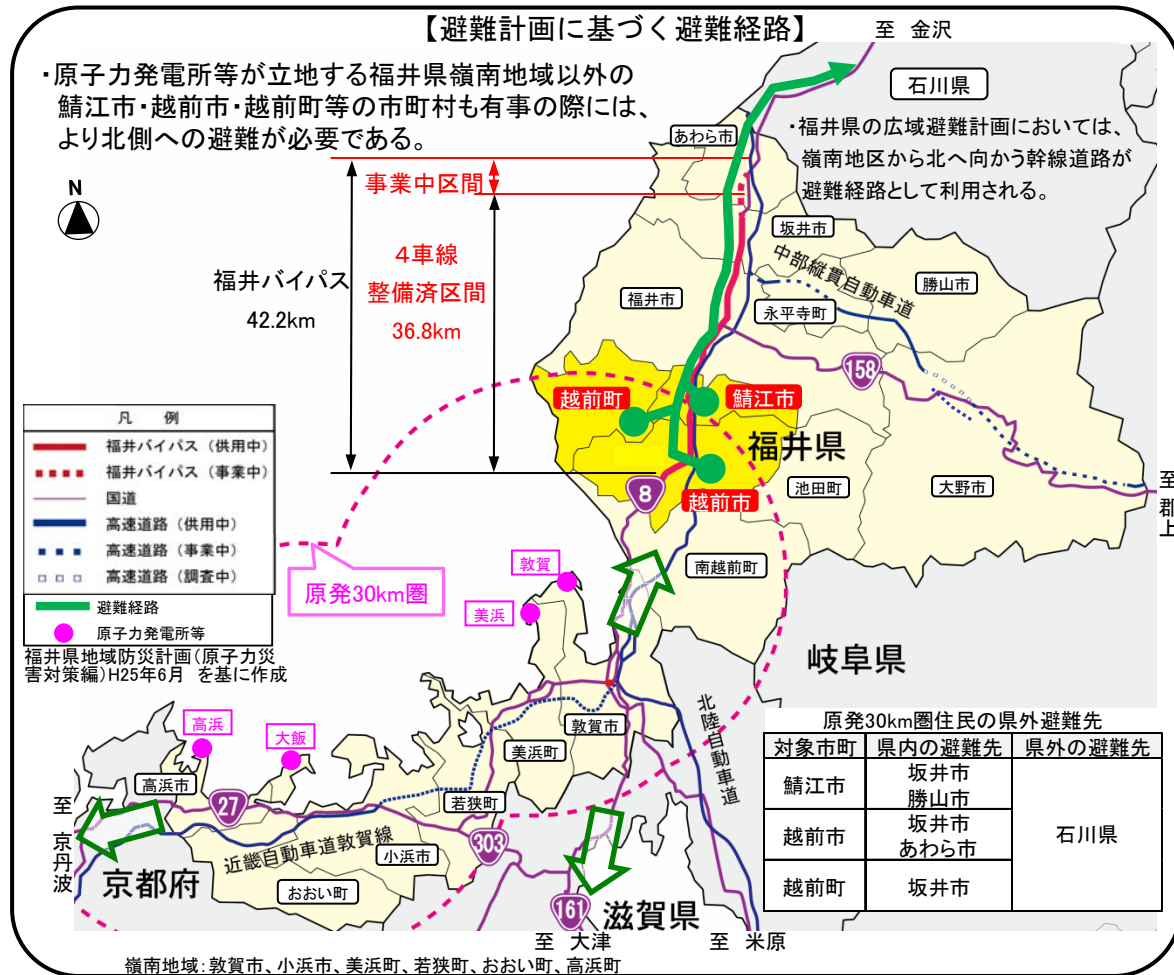


※福井バイパス区間 : 交通事故総合分析センターデータ (H19~H23) を基に作成
全国の直轄国道平均 : 交通事故総合分析センターデータ (H22) を基に作成

2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(災害時の住民避難支援)

- 福井県には、全国で最も多い4ヶ所の原子力発電所があり、有事の際には原発30km圏に位置する市町村から県内および県外に避難する防災計画が平成25年7月に定められた。
- そのうち、鯖江市、越前市、越前町の避難先は坂井市、あわら市および石川県と定められ、福井バイパス事業中区間の整備により、円滑な避難に寄与することが期待される。



【原子力災害時の県外避難に役立つ道路の整備】

・通常の交通網整備とともに、原子力災害時の避難に役立つとして、国道8号バイパスの早期整備を地元は望んでいる。

大野の中部縦貫道早期事業化を要望
知事・整備局長会議
県内で行われる国土交通省発注の道路や河川事業などの状況を話し合う「県知事・整備局長会議」が十日、県庁であった。西川一誠知事は昨年引き続き、中部縦貫自動車道で事業化されていない大野市の大野インターチェンジ(IC)―大野東ICの早期事業化を求めた。
谷本光司近畿地方整備局長と西川知事の面談で、冒頭を除き非公開で行われた。終了後の説明によると、整備局側が、池田町田代と岐阜県揖斐川町を結び、冠山峠道路の冠山第一トンネル(三・三キロ)の工事を進めることなどを報告した。
県側は、同トンネルに加え、石川県境の国道8号バイパスの全通▽滋賀県に抜ける国道161号の拡幅▽京都府境の国道27号青葉ト

ンネルの再整備」をあらためて要望。通常の交通量アップに加え、原子力災害時の避難にも役立つと説明した。
近畿、北陸の両地方整備局が本年度、県内で行う事業は、道路は二十一事業で八十九億三千万円、河川は六事業で五十六億六千万円、港湾は六事業で二十六億八千万円。合計は百七十二億六千万円で、うち県負担分は四十四億七千万円。(金額の一千万円未満は四捨五入)
(梅野光春)

日刊県民福井新聞提供
平成25年7月13日3面

2. 事業の必要性等に関する視点

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	5,494億円	629億円	74億円	6,198億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	2,568億円		284億円	2,852億円	

■ 算出条件等

基準年 : 平成25年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 平成42年度
 推計に用いた資料 : 平成17年度
 道路交通センサス

適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版
 事業費 : 880億円
 維持管理費 : 49百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	426億円	34億円	9億円	468億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	49億円		36億円	85億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

2. 事業の必要性等に関する視点

4) 地域における計画等

■ 地域における計画

福井バイパスは、下記の計画に位置付けられています。

■ 嶺北北部都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(平成16年5月)

「都市施設の整備に関する主要な都市計画決定等の方針」に記載

■ 坂井市総合計画(平成20年3月)

「骨格的な道路ネットワークの形成」に記載

■ あわら市都市計画マスタープラン(平成18年11月)

「交通ネットワークの方針」に記載

■ 坂井市都市計画マスタープラン(平成20年6月)

「道路ネットワーク整備の方針」に記載

■ あわら市総合振興計画後期基本計画(2012-2015)(平成21年2月)

「道路交通網の整備」に記載

■ 要望経緯

◆ 福井バイパス道路建設促進協議会

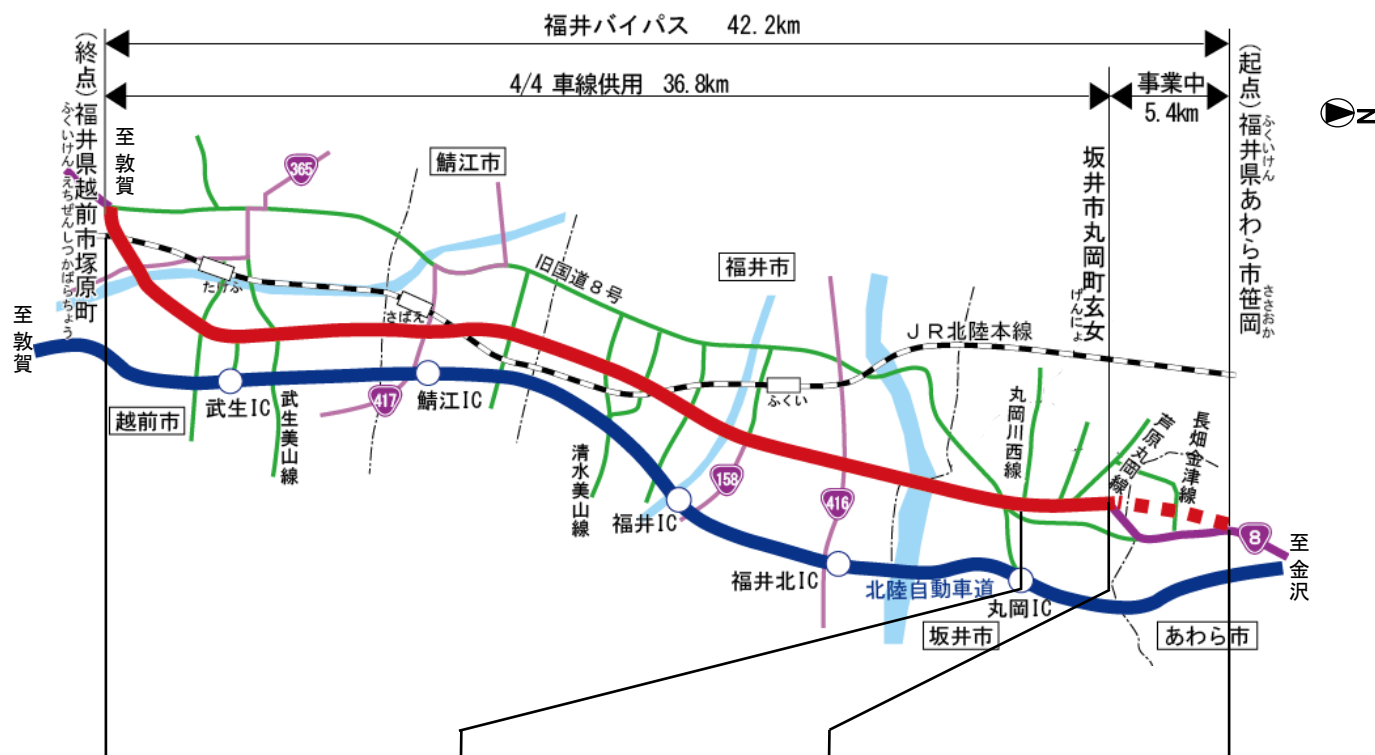
- ・構成メンバー: あわら市長、福井市長、坂井市長
- ・最近の動向 : 平成25年10月 福井バイパスの整備促進を要望
- ・過去の動向 : 平成24年10月、平成23年10月

◆ 中部圏開発整備地方協議会

- ・構成メンバー: 福井県知事他8県知事、名古屋市長他2市長
- ・最近の動向 : 平成25年7月 福井バイパスの整備促進を要望
- ・過去の動向 : 平成24年7月、平成23年7月

3. 事業の進捗の見込みの視点

- 平成21年度までに36.8kmを4車線で供用している。
- 残る区間5.4kmについては、用地買収、橋梁及び改良工事を推進中である。
- 引き続き事業を推進し、早期の暫定2車線供用を目指す。

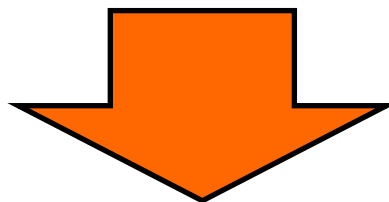


区間	34.2km	2.6km	5.4km	計
用地	用地取得済100% (S41~H4)	用地取得済 100%(H9~H17)	用地取得 91%(H13~)	約99%
工事	完成4車線供用中 (S49~H7)	完成4車線供用中 (~H21)	橋梁・改良工事推進中 (H21~)	約92%

※用地進捗率は、平成25年3月末の面積ベース

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

福井バイパスの計画は、国道8号の交通混雑の緩和や地域の活性化及び交通安全の向上を目的に、周辺の土地利用状況等を勘察し選定された合理的な計画であり、周辺の環境や景観の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

5. 関係自治体の意見

■福井県知事

平成25年10月28日 土政推第395号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

1. 福井バイパスの対応方針(原案)「事業継続」については異存なし。

本県では、新エネ・省エネ企業や物流関連企業等の積極的な誘致活動を行っており、誘致促進のためにも、本道路の早期整備が不可欠である。

国道8号は、災害時に広域的な輸送機能を発揮する道路として期待されるが、坂井市丸岡町玄女から石川県境までの区間は4車線整備されておらず、死亡事故が頻発しており、交通容量確保や安全性の向上が急務である。

また、平成30年に福井国体の開催を控えていることから、県内外の道路利用者の円滑な交通確保のためにも、更なる整備のスピードアップを求めたい。

また、取得済み用地の環境向上にも配慮願いたい。

6. 対応方針(原案)

国道8号 福井バイパス

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・福井バイパスが通過するあわら市の人口は減少、坂井市は増加。自動車保有台数はあわら市・坂井市ともに増加。
- ・福井バイパス周辺は、福井県地域産業活性化計画に基づく企業立地が進んでおり、部分供用に伴い工業団地の立地件数が増加している。残る区間の整備により更なる利便性向上、地域活性化が期待される。
- ・未整備区間に並行する現道があるあわら市域の対人事故は、県内の国道8号全体と比較して多く、未整備区間に並行する現道のうち歩道がない区間の対人事故は、福井バイパスの歩道整備済区間と比較して多く、残る区間の整備により事故減少や自転車・歩行者の安全性向上が期待される。
- ・福井県には多くの原子力発電所が立地しており、県防災計画では、原発30km圏内に位置する市町の避難計画が示され、残る区間の整備により円滑な避難に寄与することが期待される。
- ・費用便益比(B/C)は2. 2、残事業費で5. 5。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・福井バイパスは、平成21年度までに36.8kmを4車線で供用している。
- ・残る区間5.4kmについては、用地買収、橋梁及び改良工事を推進中である。
- ・残る区間については、引き続き事業を推進し、早期の暫定2車線供用を目指す。

福井バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事業継続



No. 4-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成25年度第3回

一般国道8号
ふくい
福井バイパス

【再評価】

平成25年11月
近畿地方整備局

【前回評価時との比較表】

【参考資料】

平成25年度 第3回事業評価監視委員会

事業名：一般国道8号 福井バイパス（道路種別：一般国道）

事業化年度：昭和41年度、平成2年度（1工区 延伸）

	前回評価時	今回評価	(主な変更点)
	平成22年度	平成25年度	
再評価理由	再評価後5年間が経過	再評価後3年間が経過	
事業諸元	延長：42.2km 幅員：26.0～28.0m 種級：第3種第1級 設計速度：80km/h 車線数：4車線	同左	・変更なし
全体事業費	880億円	同左	・変更なし
進捗状況	進捗率(事業費)約89% 用地取得率(面積)約98% 供用延長：36.8km	進捗率(事業費)約92% 用地取得率(面積)約99% 供用延長：36.8km	・進捗率(事業費)で約3%進捗
進捗率(事業費)	約89%	約92%	・約3%進捗
費用対効果B/C	2.2 (残事業 5.0)	2.2 (残事業5.5)	①推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表 ②評価年、各年度事業費、GDPデフレータの時点修正(H25)等
備考	・引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す		

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道8号 福井バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 2.2 (経済的純現在価値 (B-C) = 3346億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.5%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 5.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 383億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 22.9%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 2519万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 113万人・時間/年 (6772万人・時間/年⇒6659万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について：一般国道8号 (主) 福井金津線・(県) 福井鯖江線・(主) 福井朝日武生線 (県) 三尾野別所線・(県) 三尾野鯖江(県) 瓜生今福線・(主) 丸岡川西線・ 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 123万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 2割削減	
	<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	京福バス (永平寺・東尋坊線)	
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	坂井市丸岡町～JR芦原温泉駅 (特急停車駅) (所要時間 : 14分→12分)	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	福井市～小松空港 (共用飛行場) (所要時間 : 94分⇒91分)	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	あわら市、坂井市 (コシヒカリ、スイカ、大根等)、主な出荷先 : 福井市 (福井市中央卸売市場)
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	福井市～越前市
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	あわら市～福井市（所要時間：44分⇒41分）
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	熊坂工業団地、金津中部工業団地、古屋石塚テクノパーク、坂井中部工業団地、福井県商工業団地、玄女農工団地、舟寄農工団地
<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される		金津創作の森（年間観光客入り込み数：143千人/年 H24年）、丸岡城（年間観光客入り込み数：347千人/年 H24年）	
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	

		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	あわらし市～福井県立病院（三次救急医療施設）（所要時間：33分⇒30分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/信台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	福井県地域防災計画（緊急交通路：広域交通規制路線） 緊急輸送道路ネットワーク計画（第1次緊急輸送道路）
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道8号、(主)福井金津線、(主)芦原丸岡線（坂井市丸岡町～あわらし市熊坂）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	現道における老朽橋梁（坪江橋）
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：6000.11t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道8号（主）福井金津線・（県）福井鯖江線・（主）福井朝日武生線（県）三尾野別所線・（県）三尾野鯖江（県）瓜生今福線・（主）丸岡川西線・ 排出削減量：60.9t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：35.93t/年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道8号（主）福井金津線・（県）福井鯖江線・（主）福井朝日武生線（県）三尾野別所線・（県）三尾野鯖江（県）瓜生今福線・（主）丸岡川西線・ 排出削減量：3.54t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：2.07t/年
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	国道8号 坂井市丸岡町一本田（騒音レベル：夜間72dB、改善見込み）、あわらし市瓜生（騒音レベル：夜間73dB、改善見込み）
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	嶺北都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（地域間の交流・連携を支援）、坂井市総合計画（南北方向の広域道路ネットワークを形成）、あわらし市都市計画マスタープラン（広域的な交流を支える広域連携軸）等
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道8号	福井バイパス	L=42.2km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,200	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	861億円	979億円	1,840億円
うち残事業分	65億円	125億円	190億円
基準年における 現在価値 (C)	2,568億円	284億円	2,852億円
うち残事業分	49億円	36億円	85億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成36年度			
単年便益 (初年便益)	426億円	48億円	5.7億円	480億円
基準年における 現在価値 (B)	5,494億円	629億円	74億円	6,198億円
うち残事業分	426億円	34億円	8.7億円	468億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.2
経済的純現在価値（事業全体）	3,346億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.5%
費用便益比（残事業）	5.5
経済的純現在価値（残事業）	383億円
経済的内部収益率（残事業）	22.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （全事業）	20,200台/日	±10%	1.8~2.6
事業費 （全事業）	65億円	±10%	2.2~2.2
事業期間 （全事業）	10年	±20%	2.0~2.3

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （残事業）	20,200台/日	±10%	4.4~6.7
事業費 （残事業）	65億円	±10%	5.2~5.8
事業期間 （残事業）	10年	±20%	5.3~5.6

交通状況の変化

様式-3①

事業名：福井バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (42.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	35,400	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	87	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	546.89	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道8号 (5.5km)	交通量	[台/日]	8,600	1,500
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	19.80	2.14
	(主)福井金津線・(県)福井鯖江線・ (25.8km)	交通量	[台/日]	24,400	16,500
		走行時間	[分]	88	70
		走行時間費用	[億円/年]	358.61	191.42
	(主)福井朝日武生線 (26.2km)	交通量	[台/日]	16,100	12,200
		走行時間	[分]	68	59
		走行時間費用	[億円/年]	187.52	118.45
	(県)三尾野別所線・(県)三尾野鯖江 (12.6km)	交通量	[台/日]	10,700	4,900
		走行時間	[分]	31	28
		走行時間費用	[億円/年]	54.56	22.96
	(県)瓜生今福線・(主)丸岡川西線・ (7.4km)	交通量	[台/日]	11,100	2,500
		走行時間	[分]	19	14
		走行時間費用	[億円/年]	37.18	6.19
③その他道路合計 (2,692.6km)	走行時間費用	[億円/年]	5,111.73	4,451.89	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,812.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,769.40	5,339.93	429.48

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

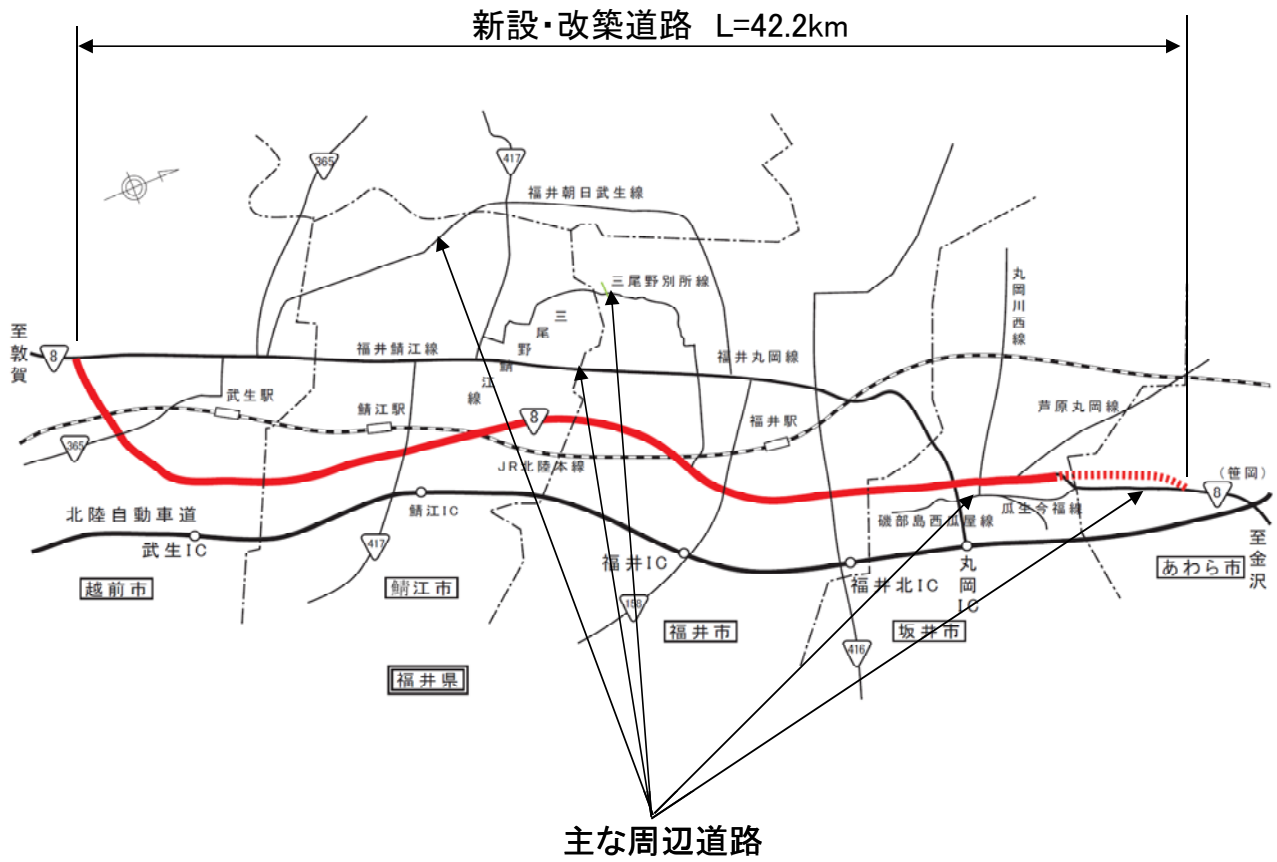
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：福井バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (5.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	17,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	25.64	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道8号 (5.5km)	交通量	[台/日]	17,300	1,500
		走行時間	[分]	17	8
		走行時間費用	[億円/年]	56.01	2.14
	(主)福井金津線・(県)福井鯖江線・ (25.8km)	交通量	[台/日]	16,500	16,500
		走行時間	[分]	70	70
		走行時間費用	[億円/年]	191.45	191.42
	(主)福井朝日武生線 (26.2km)	交通量	[台/日]	12,200	12,200
		走行時間	[分]	59	59
		走行時間費用	[億円/年]	118.45	118.45
	(県)三尾野別所線・(県)三尾野鯖江 (12.6km)	交通量	[台/日]	4,900	4,900
		走行時間	[分]	28	28
		走行時間費用	[億円/年]	22.96	22.96
	(県)瓜生今福線・(主)丸岡川西線・ (7.4km)	交通量	[台/日]	2,500	2,500
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	6.33	6.19
③その他道路合計 (2,729.4km)	走行時間費用	[億円/年]	4,976.96	4,973.14	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,812.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,372.15	5,339.93	32.21

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

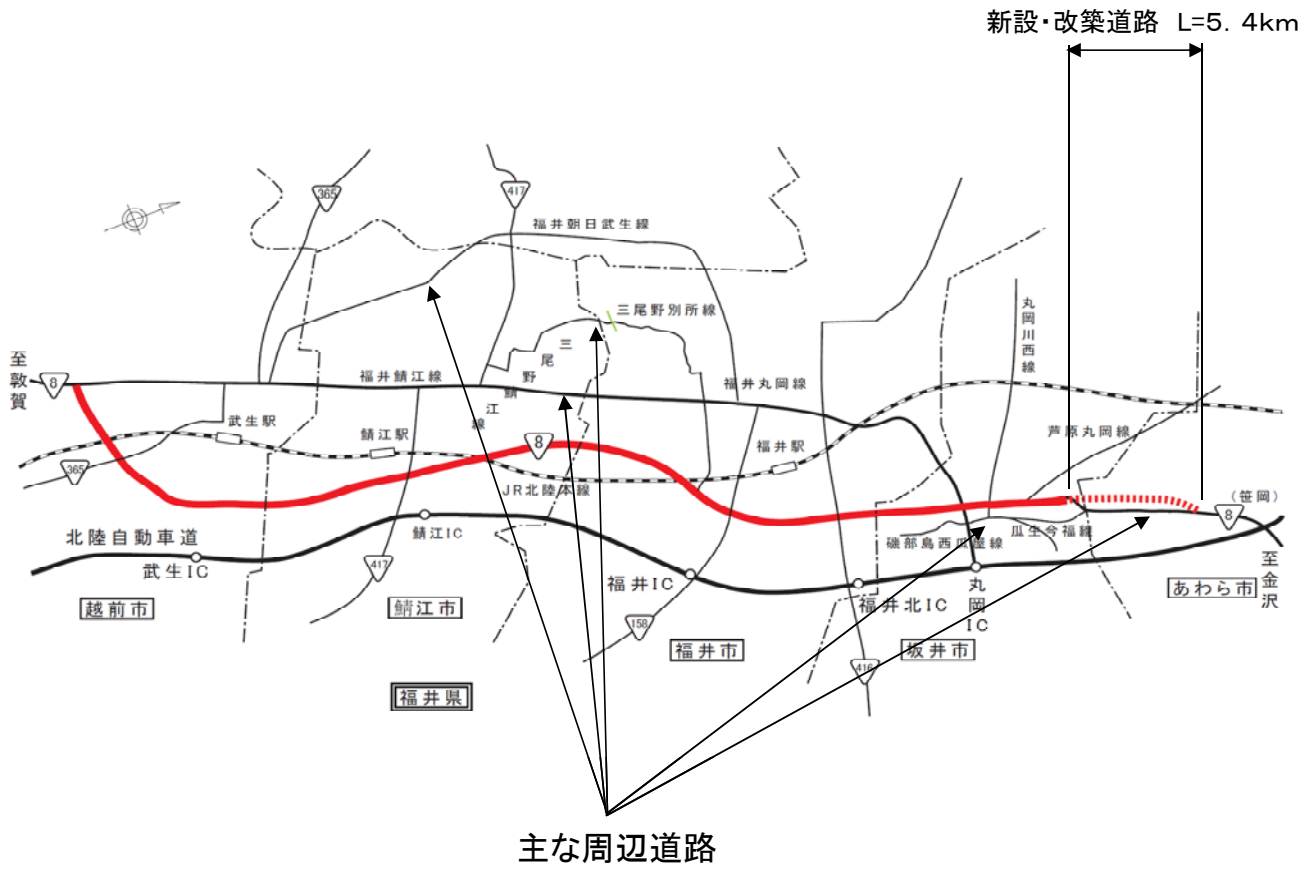
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：福井バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ の推計の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:一般国道8号 福井バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.49	42.2	20.56

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	
-58年目	S 41	1966	6.3178	34.7	3.30	55.35		
-57年目	S 42	1967	6.0748	36.6	8.15	124.70		
-56年目	S 43	1968	5.8412	38.5	3.45	48.15		
-55年目	S 44	1969	5.6165	40.8	5.69	72.23		
-54年目	S 45	1970	5.4005	43.5	8.20	93.75		
-53年目	S 46	1971	5.1928	45.6	13.30	139.50		
-52年目	S 47	1972	4.9931	48.7	19.74	186.48		
-51年目	S 48	1973	4.8010	56.1	9.91	78.17		
-50年目	S 49	1974	4.6164	66.9	10.83	68.88		
-49年目	S 50	1975	4.4388	70.7	7.16	41.40		
-48年目	S 51	1976	4.2681	76.7	11.56	59.28		
-47年目	S 52	1977	4.1039	81.3	17.39	80.87		
-46年目	S 53	1978	3.9461	84.7	17.39	74.62		
-45年目	S 54	1979	3.7943	86.9	30.60	123.06		
-44年目	S 55	1980	3.6484	92.4	17.00	61.82		
-43年目	S 56	1981	3.5081	94.8	13.00	44.33		
-42年目	S 57	1982	3.3731	95.8	16.10	52.19		
-41年目	S 58	1983	3.2434	96.8	19.10	58.95		
-40年目	S 59	1984	3.1187	98.7	24.60	71.58		
-39年目	S 60	1985	2.9987	99.5	24.54	68.14		
-38年目	S 61	1986	2.8834	101.2	33.88	88.93		
-37年目	S 62	1987	2.7725	101.0	38.60	97.63		
-36年目	S 63	1988	2.6658	101.5	51.40	124.34		
-35年目	H 1	1989	2.5633	104.2	29.91	67.79		
-34年目	H 2	1990	2.4647	106.5	15.88	33.85		
-33年目	H 3	1991	2.3699	109.1	8.90	17.81		
-32年目	H 4	1992	2.2788	110.6	16.60	31.51		
-31年目	H 5	1993	2.1911	110.9	31.65	57.59		
-30年目	H 6	1994	2.1068	110.8	36.36	63.67		
-29年目	H 7	1995	2.0258	109.9	24.36	41.35		
-28年目	H 8	1996	1.9479	109.5	7.58	12.42		
-27年目	H 9	1997	1.8730	110.4	9.95	15.55		
-26年目	H 10	1998	1.8009	109.9	38.87	58.66		
-25年目	H 11	1999	1.7317	108.4	7.31	10.76		
-24年目	H 12	2000	1.6651	107.2	26.16	37.43		
-23年目	H 13	2001	1.6010	105.7	16.65	23.22		
-22年目	H 14	2002	1.5395	103.8	13.59	18.56		
-21年目	H 15	2003	1.4802	102.3	13.57	18.09		
-20年目	H 16	2004	1.4233	101.0	13.95	18.11		
-19年目	H 17	2005	1.3686	99.6	12.71	16.09		
-18年目	H 18	2006	1.3159	98.7	15.53	19.07		
-17年目	H 19	2007	1.2653	97.6	8.26	9.86		
-16年目	H 20	2008	1.2167	96.8	9.83	11.38		
-15年目	H 21	2009	1.1699	95.6	7.12	8.03		
-14年目	H 22	2010	1.1249	93.7	5.72	6.33		
-13年目	H 23	2011	1.0816	92.1	4.58	4.95		
-12年目	H 24	2012	1.0400	92.1	12.15	12.64		
-11年目	H 25	2013	1.0000	92.1	3.81	3.81		
-10年目	H 26	2014	0.9615	92.1	0.95	0.92		
-9年目	H 27	2015	0.9246	92.1	0.95	0.88		
-8年目	H 28	2016	0.8890	92.1	1.90	1.69		
-7年目	H 29	2017	0.8548	92.1	7.97	6.81		
-6年目	H 30	2018	0.8219	92.1	6.67	5.48		
-5年目	H 31	2019	0.7903	92.1	1.90	1.51		
-4年目	H 32	2020	0.7599	92.1	13.10	9.96		
-3年目	H 33	2021	0.7307	92.1	5.36	3.92		
-2年目	H 34	2022	0.7026	92.1	22.34	15.70		
-1年目	H 35	2023	0.6756	92.1	3.55	2.40		
供用開始年次	H 36	2024	0.6496	92.1			19.58	12.72
1年目	H 37	2025	0.6246	92.1			19.58	12.23
2年目	H 38	2026	0.6006	92.1			19.58	11.76
3年目	H 39	2027	0.5775	92.1			19.58	11.31
4年目	H 40	2028	0.5553	92.1			19.58	10.87
5年目	H 41	2029	0.5339	92.1			19.58	10.45
6年目	H 42	2030	0.5134	92.1			19.58	10.05

7年目	H	43	2031	0.4936	92.1			19.58	9.67
8年目	H	44	2032	0.4746	92.1			19.58	9.29
9年目	H	45	2033	0.4564	92.1			19.58	8.94
10年目	H	46	2034	0.4388	92.1			19.58	8.59
11年目	H	47	2035	0.4220	92.1			19.58	8.26
12年目	H	48	2036	0.4057	92.1			19.58	7.94
13年目	H	49	2037	0.3901	92.1			19.58	7.64
14年目	H	50	2038	0.3751	92.1			19.58	7.34
15年目	H	51	2039	0.3607	92.1			19.58	7.06
16年目	H	52	2040	0.3468	92.1			19.58	6.79
17年目	H	53	2041	0.3335	92.1			19.58	6.53
18年目	H	54	2042	0.3207	92.1			19.58	6.28
19年目	H	55	2043	0.3083	92.1			19.58	6.04
20年目	H	56	2044	0.2965	92.1			19.58	5.81
21年目	H	57	2045	0.2851	92.1			19.58	5.58
22年目	H	58	2046	0.2741	92.1			19.58	5.37
23年目	H	59	2047	0.2636	92.1			19.58	5.16
24年目	H	60	2048	0.2534	92.1			19.58	4.96
25年目	H	61	2049	0.2437	92.1			19.58	4.77
26年目	H	62	2050	0.2343	92.1			19.58	4.59
27年目	H	63	2051	0.2253	92.1			19.58	4.41
28年目	H	64	2052	0.2166	92.1			19.58	4.24
29年目	H	65	2053	0.2083	92.1			19.58	4.08
30年目	H	66	2054	0.2003	92.1			19.58	3.92
31年目	H	67	2055	0.1926	92.1			19.58	3.77
32年目	H	68	2056	0.1852	92.1			19.58	3.63
33年目	H	69	2057	0.1780	92.1			19.58	3.49
34年目	H	70	2058	0.1712	92.1			19.58	3.35
35年目	H	71	2059	0.1646	92.1			19.58	3.22
36年目	H	72	2060	0.1583	92.1			19.58	3.10
37年目	H	73	2061	0.1522	92.1			19.58	2.98
38年目	H	74	2062	0.1463	92.1			19.58	2.86
39年目	H	75	2063	0.1407	92.1			19.58	2.76
40年目	H	76	2064	0.1353	92.1			19.58	2.65
41年目	H	77	2065	0.1301	92.1			19.58	2.55
42年目	H	78	2066	0.1251	92.1			19.58	2.45
43年目	H	79	2067	0.1203	92.1			19.58	2.36
44年目	H	80	2068	0.1157	92.1			19.58	2.27
45年目	H	81	2069	0.1112	92.1			19.58	2.18
46年目	H	82	2070	0.1069	92.1			19.58	2.09
47年目	H	83	2071	0.1028	92.1			19.58	2.01
48年目	H	84	2072	0.0989	92.1			19.58	1.94
49年目	H	85	2073	0.0951	92.1	-146.75	-13.96	19.58	1.86
合計									
単純事業費計						713.89	2568.19	979.05	284.17
単純事業費計						860.64		979.05	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道8号 福井バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
				0.49	5.4	2.63	
-10年目	H 26 2014	0.9615	92.1	0.95	0.92		
-9年目	H 27 2015	0.9246	92.1	0.95	0.88		
-8年目	H 28 2016	0.8890	92.1	1.90	1.69		
-7年目	H 29 2017	0.8548	92.1	7.97	6.81		
-6年目	H 30 2018	0.8219	92.1	6.67	5.48		
-5年目	H 31 2019	0.7903	92.1	1.90	1.51		
-4年目	H 32 2020	0.7599	92.1	13.10	9.96		
-3年目	H 33 2021	0.7307	92.1	5.36	3.92		
-2年目	H 34 2022	0.7026	92.1	22.34	15.70		
-1年目	H 35 2023	0.6756	92.1	3.55	2.40		
供用開始年次	H 36 2024	0.6496	92.1			2.51	1.63
1年目	H 37 2025	0.6246	92.1			2.51	1.57
2年目	H 38 2026	0.6006	92.1			2.51	1.50
3年目	H 39 2027	0.5775	92.1			2.51	1.45
4年目	H 40 2028	0.5553	92.1			2.51	1.39
5年目	H 41 2029	0.5339	92.1			2.51	1.34
6年目	H 42 2030	0.5134	92.1			2.51	1.29
7年目	H 43 2031	0.4936	92.1			2.51	1.24
8年目	H 44 2032	0.4746	92.1			2.51	1.19
9年目	H 45 2033	0.4564	92.1			2.51	1.14
10年目	H 46 2034	0.4388	92.1			2.51	1.10
11年目	H 47 2035	0.4220	92.1			2.51	1.06
12年目	H 48 2036	0.4057	92.1			2.51	1.02
13年目	H 49 2037	0.3901	92.1			2.51	0.98
14年目	H 50 2038	0.3751	92.1			2.51	0.94
15年目	H 51 2039	0.3607	92.1			2.51	0.90
16年目	H 52 2040	0.3468	92.1			2.51	0.87
17年目	H 53 2041	0.3335	92.1			2.51	0.84
18年目	H 54 2042	0.3207	92.1			2.51	0.80
19年目	H 55 2043	0.3083	92.1			2.51	0.77
20年目	H 56 2044	0.2965	92.1			2.51	0.74
21年目	H 57 2045	0.2851	92.1			2.51	0.71
22年目	H 58 2046	0.2741	92.1			2.51	0.69
23年目	H 59 2047	0.2636	92.1			2.51	0.66
24年目	H 60 2048	0.2534	92.1			2.51	0.63
25年目	H 61 2049	0.2437	92.1			2.51	0.61
26年目	H 62 2050	0.2343	92.1			2.51	0.59
27年目	H 63 2051	0.2253	92.1			2.51	0.56
28年目	H 64 2052	0.2166	92.1			2.51	0.54
29年目	H 65 2053	0.2083	92.1			2.51	0.52
30年目	H 66 2054	0.2003	92.1			2.51	0.50
31年目	H 67 2055	0.1926	92.1			2.51	0.48
32年目	H 68 2056	0.1852	92.1			2.51	0.46
33年目	H 69 2057	0.1780	92.1			2.51	0.45
34年目	H 70 2058	0.1712	92.1			2.51	0.43
35年目	H 71 2059	0.1646	92.1			2.51	0.41
36年目	H 72 2060	0.1583	92.1			2.51	0.40
37年目	H 73 2061	0.1522	92.1			2.51	0.38
38年目	H 74 2062	0.1463	92.1			2.51	0.37
39年目	H 75 2063	0.1407	92.1			2.51	0.35
40年目	H 76 2064	0.1353	92.1			2.51	0.34
41年目	H 77 2065	0.1301	92.1			2.51	0.33
42年目	H 78 2066	0.1251	92.1			2.51	0.31
43年目	H 79 2067	0.1203	92.1			2.51	0.30
44年目	H 80 2068	0.1157	92.1			2.51	0.29
45年目	H 81 2069	0.1112	92.1			2.51	0.28
46年目	H 82 2070	0.1069	92.1			2.51	0.27
47年目	H 83 2071	0.1028	92.1			2.51	0.26
48年目	H 84 2072	0.0989	92.1			2.51	0.25
49年目	H 85 2073	0.0951	92.1	-2.24	-0.21	2.51	0.24
合計				62.47	49.06	125.28	36.37
単純事業費計				64.71		125.28	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道8号 福井バイパス

年次	年度 (基準年) H 25	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 36	0.99898	0.99542	1.01478	1.00135	0.6496	92.1	287.71	62.36	76.12	426.19	263.41	29.38	5.03	13.37	47.78	29.53	5.75	3.55	479.72	296.50
1年目	H 37	0.99898	0.99540	1.01457	1.00135	0.6246	92.1	287.42	62.08	77.24	426.74	253.60	29.35	5.00	13.57	47.92	28.48	5.76	3.42	480.42	285.50
2年目	H 38	0.99898	0.99538	1.01436	1.00135	0.6006	92.1	287.12	61.79	78.37	427.29	244.17	29.32	4.98	13.77	48.07	27.47	5.77	3.29	481.12	274.93
3年目	H 39	0.99898	0.99536	1.01416	1.00135	0.5775	92.1	286.83	61.51	79.49	427.83	235.08	29.29	4.96	13.96	48.21	26.49	5.77	3.17	481.82	264.74
4年目	H 40	0.99898	0.99533	1.01396	1.00135	0.5553	92.1	286.54	61.22	80.62	428.38	226.33	29.26	4.93	14.16	48.36	25.55	5.78	3.05	482.52	254.93
5年目	H 41	0.99898	0.99531	1.01377	1.00135	0.5339	92.1	286.25	60.94	81.75	428.93	217.89	29.23	4.91	14.36	48.50	24.64	5.79	2.94	483.22	245.46
6年目	H 42	0.99147	0.99369	1.00195	0.99395	0.5134	92.1	285.95	60.65	82.87	429.48	209.79	29.20	4.89	14.56	48.65	23.76	5.80	2.83	483.92	236.38
7年目	H 43	0.99140	0.99365	1.00195	0.99391	0.4936	92.1	283.51	60.27	83.03	426.81	200.45	28.95	4.86	14.59	48.40	22.73	5.76	2.71	480.97	225.88
8年目	H 44	0.99132	0.99361	1.00195	0.99387	0.4746	92.1	281.08	59.88	83.20	424.16	191.53	28.70	4.83	14.61	48.15	21.74	5.73	2.59	478.03	215.86
9年目	H 45	0.99125	0.99357	1.00194	0.99384	0.4564	92.1	278.64	59.50	83.36	421.50	183.03	28.45	4.80	14.64	47.89	20.80	5.69	2.47	475.08	206.30
10年目	H 46	0.99117	0.99353	1.00194	0.99380	0.4388	92.1	276.20	59.12	83.52	418.84	174.86	28.20	4.77	14.67	47.64	19.89	5.66	2.36	472.13	197.11
11年目	H 47	0.99109	0.99348	1.00194	0.99376	0.4220	92.1	273.76	58.74	83.68	416.18	167.10	27.96	4.73	14.70	47.39	19.03	5.62	2.26	469.19	188.38
12年目	H 48	0.99101	0.99344	1.00193	0.99372	0.4057	92.1	271.32	58.35	83.84	413.52	159.62	27.71	4.70	14.73	47.14	18.20	5.59	2.16	466.24	179.97
13年目	H 49	0.99093	0.99340	1.00193	0.99368	0.3901	92.1	268.88	57.97	84.01	410.86	152.49	27.46	4.67	14.76	46.89	17.40	5.55	2.06	463.30	171.96
14年目	H 50	0.99085	0.99335	1.00192	0.99364	0.3751	92.1	266.44	57.59	84.17	408.20	145.68	27.21	4.64	14.79	46.64	16.64	5.52	1.97	460.35	164.29
15年目	H 51	0.99076	0.99331	1.00192	0.99360	0.3607	92.1	264.00	57.21	84.33	405.54	139.18	26.96	4.61	14.81	46.38	15.92	5.48	1.88	457.40	156.98
16年目	H 52	0.99068	0.99327	1.00192	0.99356	0.3468	92.1	261.56	56.82	84.49	402.88	132.93	26.71	4.58	14.84	46.13	15.22	5.45	1.80	454.46	149.95
17年目	H 53	0.99059	0.99322	1.00191	0.99352	0.3335	92.1	259.13	56.44	84.65	400.22	126.99	26.46	4.55	14.87	45.88	14.56	5.41	1.72	451.51	143.27
18年目	H 54	0.99050	0.99317	1.00191	0.99347	0.3207	92.1	256.69	56.06	84.81	397.56	121.31	26.21	4.52	14.90	45.63	13.92	5.38	1.64	448.57	136.87
19年目	H 55	0.99041	0.99313	1.00191	0.99343	0.3083	92.1	254.25	55.68	84.98	394.90	115.84	25.96	4.49	14.93	45.38	13.31	5.34	1.57	445.62	130.71
20年目	H 56	0.99032	0.99308	1.00190	0.99339	0.2965	92.1	251.81	55.29	85.14	392.24	110.65	25.71	4.46	14.96	45.13	12.73	5.31	1.50	442.68	124.88
21年目	H 57	0.99022	0.99303	1.00190	0.99334	0.2851	92.1	249.37	54.91	85.30	389.59	105.68	25.47	4.43	14.98	44.88	12.17	5.27	1.43	439.73	119.28
22年目	H 58	0.99013	0.99298	1.00189	0.99330	0.2741	92.1	246.94	54.53	85.46	386.93	100.91	25.22	4.40	15.01	44.63	11.64	5.23	1.37	436.79	113.91
23年目	H 59	0.99003	0.99293	1.00189	0.99325	0.2636	92.1	244.50	54.14	85.62	384.27	96.37	24.97	4.36	15.04	44.37	11.13	5.20	1.30	433.84	108.81
24年目	H 60	0.98993	0.99288	1.00189	0.99321	0.2534	92.1	242.06	53.76	85.79	381.61	92.00	24.72	4.33	15.07	44.12	10.64	5.16	1.25	430.90	103.89
25年目	H 61	0.98982	0.99283	1.00188	0.99316	0.2437	92.1	239.62	53.38	85.95	378.95	87.87	24.47	4.30	15.10	43.87	10.17	5.13	1.19	427.95	99.23
26年目	H 62	0.98972	0.99278	1.00188	0.99311	0.2343	92.1	237.18	53.00	86.11	376.29	83.88	24.22	4.27	15.13	43.62	9.72	5.09	1.14	425.00	94.74
27年目	H 63	0.98961	0.99273	1.00188	0.99307	0.2253	92.1	234.75	52.61	86.27	373.63	80.09	23.97	4.24	15.16	43.37	9.30	5.06	1.08	422.06	90.47
28年目	H 64	0.98950	0.99267	1.00187	0.99302	0.2166	92.1	232.31	52.23	86.43	370.97	76.45	23.72	4.21	15.18	43.12	8.89	5.02	1.04	419.11	86.37
29年目	H 65	0.98939	0.99262	1.00187	0.99297	0.2083	92.1	229.87	51.85	86.60	368.31	72.99	23.47	4.18	15.21	42.87	8.50	4.99	0.99	416.17	82.48
30年目	H 66	0.98928	0.99256	1.00187	0.99292	0.2003	92.1	227.43	51.47	86.76	365.65	69.68	23.22	4.15	15.24	42.61	8.12	4.95	0.94	413.22	78.75
31年目	H 67	0.98916	0.99251	1.00186	0.99287	0.1926	92.1	224.99	51.08	86.92	363.00	66.52	22.98	4.12	15.27	42.36	7.76	4.92	0.90	410.28	75.18
32年目	H 68	0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.1852	92.1	222.55	50.70	87.08	360.34	63.49	22.73	4.09	15.30	42.11	7.42	4.88	0.86	407.33	71.78
33年目	H 69	0.98892	0.99239	1.00186	0.99277	0.1780	92.1	220.12	50.32	87.24	357.68	60.58	22.48	4.06	15.33	41.86	7.09	4.85	0.82	404.39	68.49
34年目	H 70	0.98880	0.99234	1.00185	0.99271	0.1712	92.1	217.68	49.93	87.41	355.02	57.83	22.23	4.03	15.35	41.61	6.78	4.81	0.78	401.44	65.39
35年目	H 71	0.98867	0.99228	1.00185	0.99266	0.1646	92.1	215.24	49.55	87.57	352.36	55.18	21.98	3.99	15.38	41.36	6.48	4.78	0.75	398.50	62.41
36年目	H 72	0.98854	0.99222	1.00185	0.99260	0.1583	92.1	212.80	49.17	87.73	349.70	52.67	21.73	3.96	15.41	41.11	6.19	4.74	0.71	395.55	59.58
37年目	H 73	0.98841	0.99216	1.00184	0.99255	0.1522	92.1	210.36	48.79	87.89	347.04	50.26	21.48	3.93	15.44	40.85	5.92	4.71	0.68	392.61	56.85
38年目	H 74	0.98827	0.99209	1.00184	0.99249	0.1463	92.1	207.93	48.40	88.05	344.38	47.94	21.23	3.90	15.47	40.60	5.65	4.67	0.65	389.66	54.24
39年目	H 75	0.98813	0.99203	1.00184	0.99244	0.1407	92.1	205.49	48.02	88.21	341.72	45.75	20.98	3.87	15.50	40.35	5.40	4.64	0.62	386.71	51.77
40年目	H 76	0.98799	0.99197	1.00183	0.99238	0.1353	92.1	203.05	47.64	88.38	339.07	43.65	20.74	3.84	15.53	40.10	5.16	4.60	0.59	383.77	49.40
41年目	H 77	0.98785	0.99190	1.00183	0.99232	0.1301	92.1	200.61	47.26	88.54	336.41	41.64	20.49	3.81	15.55	39.85	4.93	4.57	0.57	380.82	47.14
42年目	H 78	0.98770	0.99184	1.00183	0.99226	0.1251	92.1	198.17	46.87	88.70	333.75	39.72	20.24	3.78	15.58	39.60	4.71	4.53	0.54	377.88	44.98
43年目	H 79	0.98754	0.99177	1.00182	0.99220	0.1203	92.1	195.74	46.49	88.86	331.09	37.90	19.99	3.75	15.61	39.35	4.50	4.50	0.51	374.93	42.91
44年目	H 80	0.98739	0.99170	1.00182	0.99214	0.1157	92.1	193.30	46.11	89.02	328.43	36.15	19.74	3.72	15.64	39.09	4.30	4.46	0.49	371.99	40.95
45年目	H 81	0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1112	92.1	190.86	45.73	89.19	325.77	34.47	19.49</								

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道8号 福井バイパス

年次	年度 (基準年) H 25	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 36	0.99898	0.99542	1.01478	1.00135	0.6496	92.1	13.54	3.37	14.22	31.13	19.24	0.70	0.16	1.52	2.38	1.47	0.67	0.42	34.18	21.13
1年目	H 37	0.99898	0.99540	1.01457	1.00135	0.6246	92.1	13.52	3.35	14.43	31.31	18.61	0.70	0.16	1.55	2.40	1.43	0.68	0.40	34.39	20.44
2年目	H 38	0.99898	0.99538	1.01436	1.00135	0.6006	92.1	13.51	3.34	14.64	31.49	17.99	0.70	0.15	1.57	2.43	1.39	0.68	0.39	34.59	19.77
3年目	H 39	0.99898	0.99536	1.01416	1.00135	0.5775	92.1	13.50	3.32	14.85	31.67	17.40	0.70	0.15	1.59	2.45	1.34	0.68	0.37	34.79	19.12
4年目	H 40	0.99898	0.99533	1.01396	1.00135	0.5553	92.1	13.48	3.31	15.06	31.85	16.83	0.70	0.15	1.61	2.47	1.30	0.68	0.36	35.00	18.49
5年目	H 41	0.99898	0.99531	1.01377	1.00135	0.5339	92.1	13.47	3.29	15.27	32.03	16.27	0.70	0.15	1.64	2.49	1.26	0.68	0.34	35.20	17.88
6年目	H 42	0.99147	0.99369	1.00195	0.99395	0.5134	92.1	13.45	3.28	15.48	32.21	15.74	0.70	0.15	1.66	2.51	1.23	0.68	0.33	35.40	17.29
7年目	H 43	0.99140	0.99365	1.00195	0.99391	0.4936	92.1	13.34	3.26	15.51	32.11	15.08	0.69	0.15	1.66	2.51	1.18	0.68	0.32	35.29	16.57
8年目	H 44	0.99132	0.99361	1.00195	0.99387	0.4746	92.1	13.23	3.23	15.54	32.00	14.45	0.69	0.15	1.66	2.50	1.13	0.67	0.30	35.18	15.88
9年目	H 45	0.99125	0.99357	1.00194	0.99384	0.4564	92.1	13.11	3.21	15.57	31.90	13.85	0.68	0.15	1.67	2.50	1.09	0.67	0.29	35.06	15.23
10年目	H 46	0.99117	0.99353	1.00194	0.99380	0.4388	92.1	13.00	3.19	15.60	31.79	13.27	0.68	0.15	1.67	2.50	1.04	0.66	0.28	34.95	14.59
11年目	H 47	0.99109	0.99348	1.00194	0.99376	0.4220	92.1	12.88	3.17	15.63	31.69	12.72	0.67	0.15	1.67	2.49	1.00	0.66	0.26	34.84	13.99
12年目	H 48	0.99101	0.99344	1.00193	0.99372	0.4057	92.1	12.77	3.15	15.66	31.58	12.19	0.66	0.15	1.68	2.49	0.96	0.66	0.25	34.72	13.40
13年目	H 49	0.99093	0.99340	1.00193	0.99368	0.3901	92.1	12.65	3.13	15.69	31.48	11.68	0.66	0.15	1.68	2.48	0.92	0.65	0.24	34.61	12.85
14年目	H 50	0.99085	0.99335	1.00192	0.99364	0.3751	92.1	12.54	3.11	15.72	31.37	11.20	0.65	0.14	1.68	2.48	0.89	0.65	0.23	34.50	12.31
15年目	H 51	0.99076	0.99331	1.00192	0.99360	0.3607	92.1	12.42	3.09	15.75	31.27	10.73	0.65	0.14	1.69	2.48	0.85	0.64	0.22	34.39	11.80
16年目	H 52	0.99068	0.99327	1.00192	0.99356	0.3468	92.1	12.31	3.07	15.79	31.16	10.28	0.64	0.14	1.69	2.47	0.82	0.64	0.21	34.27	11.31
17年目	H 53	0.99059	0.99322	1.00191	0.99352	0.3335	92.1	12.19	3.05	15.82	31.06	9.85	0.63	0.14	1.69	2.47	0.78	0.63	0.20	34.16	10.84
18年目	H 54	0.99050	0.99317	1.00191	0.99347	0.3207	92.1	12.08	3.03	15.85	30.95	9.44	0.63	0.14	1.70	2.47	0.75	0.63	0.19	34.05	10.39
19年目	H 55	0.99041	0.99313	1.00191	0.99343	0.3083	92.1	11.96	3.01	15.88	30.85	9.05	0.62	0.14	1.70	2.46	0.72	0.63	0.18	33.93	9.95
20年目	H 56	0.99032	0.99308	1.00190	0.99339	0.2965	92.1	11.85	2.99	15.91	30.74	8.67	0.62	0.14	1.70	2.46	0.69	0.62	0.18	33.82	9.54
21年目	H 57	0.99022	0.99303	1.00190	0.99334	0.2851	92.1	11.73	2.97	15.94	30.64	8.31	0.61	0.14	1.71	2.45	0.67	0.62	0.17	33.71	9.14
22年目	H 58	0.99013	0.99298	1.00189	0.99330	0.2741	92.1	11.62	2.95	15.97	30.53	7.96	0.60	0.14	1.71	2.45	0.64	0.61	0.16	33.60	8.76
23年目	H 59	0.99003	0.99293	1.00189	0.99325	0.2636	92.1	11.50	2.92	16.00	30.43	7.63	0.60	0.14	1.71	2.45	0.61	0.61	0.15	33.48	8.40
24年目	H 60	0.98993	0.99288	1.00189	0.99321	0.2534	92.1	11.39	2.90	16.03	30.32	7.31	0.59	0.13	1.72	2.44	0.59	0.61	0.15	33.37	8.05
25年目	H 61	0.98982	0.99283	1.00188	0.99316	0.2437	92.1	11.27	2.88	16.06	30.22	7.01	0.59	0.13	1.72	2.44	0.57	0.60	0.14	33.26	7.71
26年目	H 62	0.98972	0.99278	1.00188	0.99311	0.2343	92.1	11.16	2.86	16.09	30.11	6.71	0.58	0.13	1.72	2.44	0.54	0.60	0.13	33.14	7.39
27年目	H 63	0.98961	0.99273	1.00188	0.99307	0.2253	92.1	11.05	2.84	16.12	30.00	6.43	0.57	0.13	1.73	2.43	0.52	0.59	0.13	33.03	7.08
28年目	H 64	0.98950	0.99267	1.00187	0.99302	0.2166	92.1	10.93	2.82	16.15	29.90	6.16	0.57	0.13	1.73	2.43	0.50	0.59	0.12	32.92	6.78
29年目	H 65	0.98939	0.99262	1.00187	0.99297	0.2083	92.1	10.82	2.80	16.18	29.79	5.90	0.56	0.13	1.73	2.43	0.48	0.59	0.12	32.80	6.50
30年目	H 66	0.98928	0.99256	1.00187	0.99292	0.2003	92.1	10.70	2.78	16.21	29.69	5.66	0.56	0.13	1.74	2.42	0.46	0.58	0.11	32.69	6.23
31年目	H 67	0.98916	0.99251	1.00186	0.99287	0.1926	92.1	10.59	2.76	16.24	29.58	5.42	0.55	0.13	1.74	2.42	0.44	0.58	0.11	32.58	5.97
32年目	H 68	0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.1852	92.1	10.47	2.74	16.27	29.48	5.19	0.54	0.13	1.74	2.41	0.43	0.57	0.10	32.47	5.72
33年目	H 69	0.98892	0.99239	1.00186	0.99277	0.1780	92.1	10.36	2.72	16.30	29.37	4.97	0.54	0.13	1.75	2.41	0.41	0.57	0.10	32.35	5.48
34年目	H 70	0.98880	0.99234	1.00185	0.99271	0.1712	92.1	10.24	2.70	16.33	29.27	4.77	0.53	0.13	1.75	2.41	0.39	0.56	0.09	32.24	5.25
35年目	H 71	0.98867	0.99228	1.00185	0.99266	0.1646	92.1	10.13	2.68	16.36	29.16	4.57	0.53	0.12	1.75	2.40	0.38	0.56	0.09	32.13	5.03
36年目	H 72	0.98854	0.99222	1.00185	0.99260	0.1583	92.1	10.01	2.66	16.39	29.06	4.38	0.52	0.12	1.76	2.40	0.36	0.56	0.08	32.01	4.82
37年目	H 73	0.98841	0.99216	1.00184	0.99255	0.1522	92.1	9.90	2.64	16.42	28.95	4.19	0.51	0.12	1.76	2.40	0.35	0.55	0.08	31.90	4.62
38年目	H 74	0.98827	0.99209	1.00184	0.99249	0.1463	92.1	9.78	2.61	16.45	28.85	4.02	0.51	0.12	1.76	2.39	0.33	0.55	0.08	31.79	4.42
39年目	H 75	0.98813	0.99203	1.00184	0.99244	0.1407	92.1	9.67	2.59	16.48	28.74	3.85	0.50	0.12	1.76	2.39	0.32	0.54	0.07	31.68	4.24
40年目	H 76	0.98799	0.99197	1.00183	0.99238	0.1353	92.1	9.55	2.57	16.51	28.64	3.69	0.50	0.12	1.77	2.38	0.31	0.54	0.07	31.56	4.06
41年目	H 77	0.98785	0.99190	1.00183	0.99232	0.1301	92.1	9.44	2.55	16.54	28.53	3.53	0.49	0.12	1.77	2.38	0.29	0.54	0.07	31.45	3.89
42年目	H 78	0.98770	0.99184	1.00183	0.99226	0.1251	92.1	9.32	2.53	16.57	28.43	3.38	0.49	0.12	1.77	2.38	0.28	0.53	0.06	31.34	3.73
43年目	H 79	0.98754	0.99177	1.00182	0.99220	0.1203	92.1	9.21	2.51	16.60	28.32	3.24	0.48	0.12	1.78	2.37	0.27	0.53	0.06	31.22	3.57
44年目	H 80	0.98739	0.99170	1.00182	0.99214	0.1157	92.1	9.09	2.49	16.63	28.22	3.11	0.47	0.12	1.78	2.37	0.26	0.52	0.06	31.11	3.42
45年目	H 81	0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1112	92.1	8.98	2.47	16.66	28.11	2.97	0.47	0.11	1.78	2.37	0.25	0.52	0.05	31.00	3.28
46年目	H 82	0.98706	0.99156	1.00181	0.99201	0.1069	92.1	8.87	2.45	16.69	28.01	2.85	0.46	0.11	1.79	2.36	0.24	0.52	0.05	30.88	3.14
47年目	H 83	0.98689	0.99149	1.00181	0.99195	0.1028	92.1	8.75	2.43	16.72	27.90	2.73	0.46	0.11	1.79	2.36	0.23	0.51	0.05	30.77	3.01
48年目	H 84	0.98672	0.99142	1.00181	0.99188	0.0989	92.1	8.64	2.41	16.75	27.80	2.62	0.45	0.11	1.79	2.36	0.22	0.51	0.05	30.66	2.88
49年目	H 85	0.98654	0.99134	1.00180	0.99182	0.0951	92.1	8.52	2.39	16.78	27.69	2.51	0.44	0.11	1.80	2.35	0.21	0.50	0.05	30.55	2.76
合計								564.48	144.56	798.34	1,507.38	425.62	29.36	6.71	85.49	121.56	33.81	30.08	8.71	1,659.02	468.14

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道8号	福井バイパス	4	42.2

■事業費内訳

(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				52,048	
	改良費				25,214	
		土工	m3	2,833,000	12,287	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	式	1	4,675	
		法面工	m2	60,777	296	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	3,483	補強土壁、L型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	式	1	4,473	
	橋梁費		式	1	18,270	
		橋梁	m	8,130	18,270	連続高架橋12橋 PC橋16橋 鋼橋17橋
	トンネル費					
		NATM				
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	7,116	
		車道舗装	m ²	1,063,402	7,116	
		歩道舗装				
	付帯施設費		式	1	1,448	
		付帯工事費	式	1	1,448	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費		式	1	28,424	
	用地費		m ²	209,000	14,675	
		宅地	m ²	215,710	3,128	
		田畑	m ²	992,250	11,510	
		山林・原野	m ²	31,040	37	
	補償費		式	1	13,749	
③	間接経費		式	1	7,528	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				88,000	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道8号	福井バイパス	4	42.2

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				5,517	
	改良費				3,551	
		土工	m ³	767,910	1,918	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	式	1	349	
		法面工	m ²	25,571	104	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	764	補強土壁、L型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	式	1	416	
	橋梁費		式	1	384	
		橋梁	m	53	384	PC橋2橋
	トンネル費					
		NATM				
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	1,374	
		車道舗装	m ²	289,192	1,374	
		歩道舗装				
	付帯施設費		式	1	208	
		付帯工事費	式	1	208	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費		式	1	311	
	用地費		m ²	209,000	224	
		宅地	m ²	2,340	85	
		田畑	m ²	7,194	120	
		山林・原野	m ²	10,812	19	
	補償費		式	1	87	
③	間接経費		式	1	967	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				6,795	

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道8号	福井バイパス	4	42.2km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	42.2	23,450	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	79,350	橋梁8.1km
その他	式	1	0	
維持管理費合計			102,800	



国近整企画第59号
平成25年10月16日

福井県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成25年11月7日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成25年10月29日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道8号福井バイパス	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【砂防事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
九頭竜川水系直轄砂防事業	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

土政推第395号
平成25年10月28日

近畿地方整備局長 様

福井県知事 西川一誠



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)
の作成に係る意見照会について(回答)

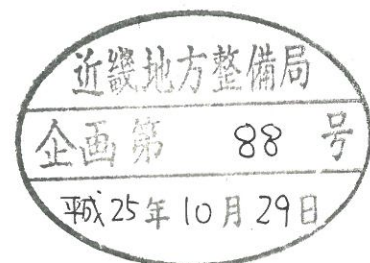
平成25年10月16日付け国近整企画第59号にて照会のありました標記の件
について、下記のとおり回答します。

- 1 国道8号福井バイパスは、本県北東部の嶺北地域に位置し、市街地における交通混雑の緩和や地域開発の基盤整備を目的として事業が進められており、本県人口の約70%が集積する沿線主要都市の南北交通を支えるなど、県民の日常生活や地域間交流、観光面において非常に重要な役割を果たしている。

本県では、新エネ・省エネ企業や物流関連企業等の積極的な誘致活動を行い、23年度から4年間で企業立地件数100件増を目標としていることから、誘致促進のためにも、本道路の早期整備が不可欠である。

また、国道8号は、災害時に広域的な輸送機能を発揮する道路として期待されるが、坂井市丸岡町玄女から石川県境までの区間は未整備で4車線が確保されてなく、死亡事故が頻発しており、交通容量確保や安全性の向上が急務であることから、4車線化による着実な整備が求められる。

本県では、平成30年に福井国体の開催を控えていることから、県内外の道路利用者の円滑な交通確保のためにも、福井バイパスは速やかに進めるべき事業であり、対応方針(原案)のとおり事業継続はもとより、更なる整備のスピードアップを求めたい。また、取得済み用地の環境向上にも配慮願いたい。



2 九頭竜川上流域は本県と岐阜県をつなぐ重要な路線である国道157号が走り、第2次緊急輸送道路として指定されている。また、流域内には奥越自然公園に指定された優れた自然環境が多く残っており、山間レクリエーション空間として重要な箇所である。

平成16年の福井豪雨では、住宅浸水被害のあった足羽川流域とは対照的に、大野市の真名川流域は、多目的ダムの治水効果により、住宅浸水被害は生じなかった。真名川ダムおよび笹生川ダムの治水機能の確保とともに、公共施設や優れた自然環境保全のための砂防事業は、速やかに進めるべき事業である。

対応方針（原案）のと通りの事業継続はもとより、更なる整備の促進を求めたい。

また、既に着手した堰堤の早期完成を図るとともに、笹生川ダムの堆砂を抑制する箇所を優先的に整備し、早期の効果発現に努めること、および事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めることをお願いしたい。

3 その他の意見

(イ) 中部縦貫自動車道の整備促進（ミッシングリンクの早期解消）

【大野油坂道路】

県内のミッシングリンクとして残る未事業化区間の大野・大野東間については、災害時に、太平洋側と日本海側を結ぶ代替ネットワークとして重要な役割を果たすだけでなく、北陸自動車道、東海北陸自動車道とつながることから、地域間交流が促進され、観光の振興に寄与する道路であることから、早期に新規事業として採択をお願いしたい。

また、事業中の大野東・油坂間については、平成26年度から工事に着手して、早期に一部区間を開通し、大野油坂道路の10年以内の全線開通を実現するようお願いしたい。

【永平寺大野道路】

開通予定年度が示されている福井北・松岡間の平成26年度および永平寺東・上志比間の平成28年度の一日も早い開通を図り、早期の全線開通を実現するため、十分な事業費を確保するようお願いしたい。

(ロ) 県際道路の整備促進

福井県と岐阜県をつなぐ国道417号の冠山峠道路については、地域間交流を促進するとともに、災害時には、広域的な輸送路として重要な役割を果たす道路であることから、着実に事業を推進し、早期完成を図るようお願いしたい。

また、京都府をつなぐ国道27号青葉山トンネルについては、原子力災害等における避難路としても重要な役割を果たすことから、早期事業化を図るようお願いしたい。

(ハ) 雪害対策について

平成23年1月の大雪、平成24年1月の大雪の影響で、国道8号および国道27号がそれぞれ通行止めとなり、道路交通に大きな支障が生じた。

この様な現状を踏まえ、大雪に十分対応できるよう、直轄国道における除雪体制を強化し、交通を確実に確保するため必要な措置を講じるようお願いしたい。

(二) 地方への意見聴取

直轄事業負担金の負担者として、事業全体を見て判断する必要があるため、意見聴取に当たっては、今回のように個別箇所だけではなく事業全体の見通しについても意見を述べる機会とするようお願いしたい。

(木) 事業評価監視委員会

事業評価監視委員会の委員選定に当たっては、地方を代表する委員も選定するようお願いしたい。